

令和3年12月20日

保護者の皆様

枚方市立津田中学校
校長 吉本 賢治

令和3年度学校教育自己診断について

師走の候、保護者の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は本校の教育活動にご理解・ご支援を賜り、誠にありがとうございます。

さて、今年度も「生徒の学ぶ意欲、基礎基本などの学力向上」、「生徒が安心して生活できる環境づくり」、「教職員の高い志と組織力向上」、「学校・家庭・地域の連携を活性化」の4つに視点を置き、それぞれ重点的な取組を行ってまいりました。

先日、ご協力いただきました「学校教育自己診断にかかるアンケート」と生徒対象の「アンケート」も併せて集計し、考察しました結果を下記の通りご報告いたします。

今回の診断結果をもとに、本校の課題を整理し、今後の学校運営に活かしてまいります。

記

1. アンケート回答率

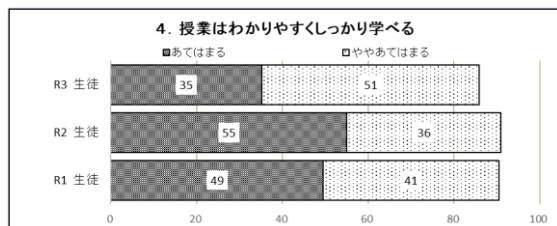
生徒89% 保護者52%

2. 集計結果と考察

アンケートの回答における「あてはまる」と「ややあてはまる」の合計を肯定的評価としています。なお、「非回答」を含みますので、合計が100%にならない場合があります。

(1)「生徒の学ぶ意欲、基礎基本などの学力向上」にかかる質問項目について

4. 「授業はわかりやすくしっかり学べる」の質問項目について、生徒の肯定的評価の割合は86%で、令和2年度と比較して5ポイント減少し、令和元年度と比較して4ポイント少なく、過去3年間で最も低い割合となっています。

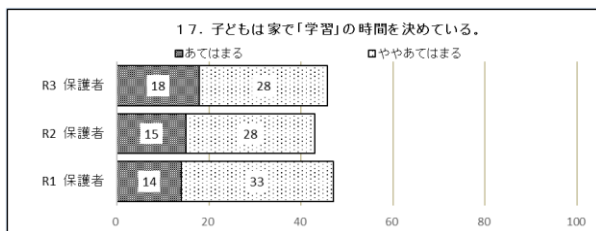


和2年度と比較して5ポイント減少し、令和元年度と比較して4ポイント少なく、過去3年間で最も低い割合となっています。

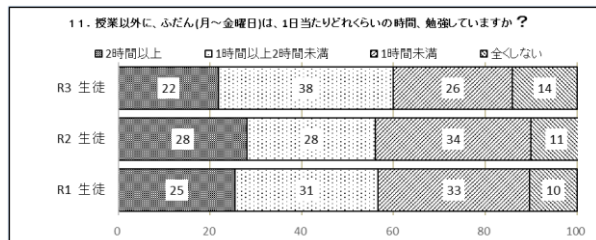
今年度も昨年度同様、基礎基本を重視した確かな学力を身につけるとともに、個性の伸長を図りながら、学習内容に応じて ICT 機器(タブレット・プロジェクタなど)を活用し、楽しくわかる授業、一人ひとりが活躍できる授業づくりに取り組んでまいりました。

今後も継続して相互授業参観や授業研究をおこない、生徒一人ひとりが「わかった」、「できた」と実感できる授業をめざして授業改善に取り組んでまいります。

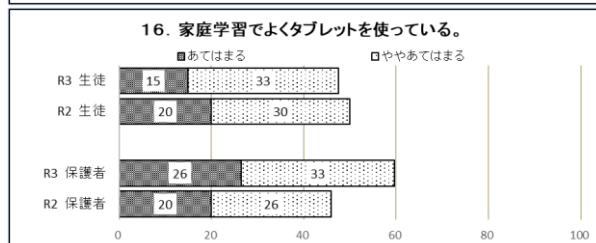
17. 「子どもは家で「学習」の時間を決めている」の質問項目について、保護者の肯定的評価の割合は



46%で、昨年度と比較して 3 ポイント増加しました。しかし、11. 「授業時間以外に、ふだんは、1日当たりどれくらいの時間、勉強していますか」の質問項目において、「全くしない」と回答した生徒の割合が14%と、過去3年間で最も高い割合となっています。



また、16. 「家庭学習でよくタブレットを使っている」の質問項目では、生徒の肯定的評価は48%で、昨年度に比べて 2 ポイント減少し、保護者の肯定的評価は 59%で、昨年度に比べて 13 ポイント増加しました。

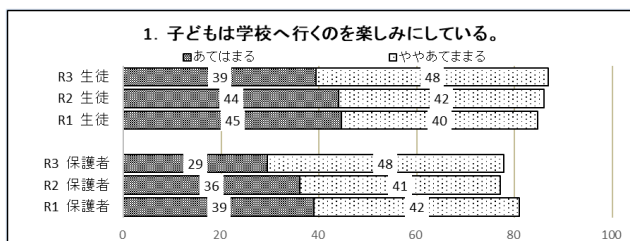


今年度も昨年度に引き続き、生徒の放課後学習や家庭学習の定着を図るため、「津田中 1 時間 + α 運動」、「週末宿題」に取り組んでまいりました。また、今年度も継続して「タブレットドリル」を活用した取組も実施しています。放課後学習や家庭学習の定着がまだまだ不十分である状況が続いています。授業で学んだことを定着するためには、放課後学習や家庭学習が不可欠です。

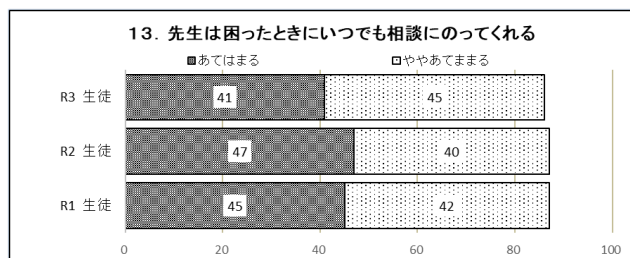
タブレットを活用した家庭学習の推進と家庭における学習習慣を身につけたいと考えています。生活のリズムを整え、生活の中に家庭学習の時間をしっかり組み込んでいく必要があります。

(2) 「生徒が安心して生活できる環境づくり」にかかる質問項目について

1. 「子どもは学校へ行くのを楽しみにしている」の質問項目について、生徒の肯定的評価の割合は8



7%となっており、過去3年間で最も高い割合となっています。一方、保護者の肯定的評価の割合は昨年度と同じ77%過去3年間で最も低い割合となっています。各教職員は、カウンセリングマインドによる内面にせまる指導を行うとともに、生徒理解と信頼関係のもと、温かみのある指導を心がけてまいりました。

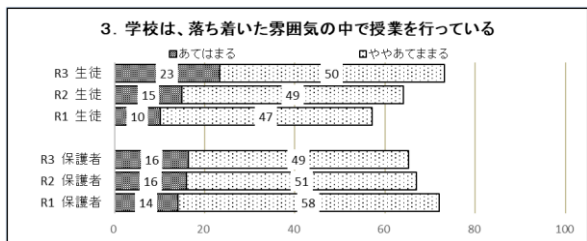


13. 「先生は困った時にいつでも相談にのってくれる」の質問項目では、「あてはまる」と回答した生徒の割合が86%で、昨年度より 1 ポイント減少しています。

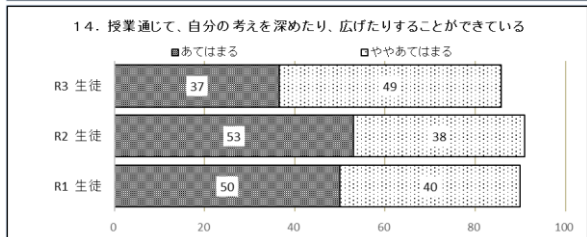
今後も、正しい生徒理解のもと、信頼関係を基盤とし、温かみのある指導を推進してまいります。

(3)「教職員の高い志と組織力向上」にかかる質問項目について

3.「学校は、落ち着いた雰囲気の中で授業を行っている」の質問項目において、生徒の肯定的評価は73%で、過去3年間で最も高い割合になっている一方、保護者の肯定的評価は65%で、過去3年間で



最も低い割合となっています。また、14.「授業を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」の質問項目では、生徒の肯定的評価の割合が86%と過去3年間に於いて最も低い割合となっています。

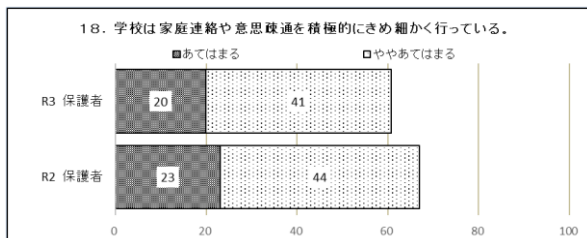


生徒は、努力して授業に集中し、落ち着いた雰囲気の中で、班で話し合い、意見を交流したのち、全体に発表するなど真摯に取り組んでいました。教職員は、研究授業や相互参観授業を行い、各教科や学年会で情報共有し、教材研究や授業づくりに取り組んでまいりました。

今後も、組織的に生徒の授業に対するモチベーションを高める工夫、学習規律の定着、より良い学習集団の育成に取り組んでまいります。

(4)「学校・家庭・地域の連携を活性化」にかかる質問項目について

18.「学校は家庭連絡や意思疎通を積極的にきめ細かく行っている」の質問項目について、保護者の肯定的回答の割合は61%で、昨年度と比較して6ポイント減少しています。



今年度もコロナ禍により、授業参観や行事等で学校に来校していただく機会が減少する中、学校だよりや学級通信、これまでのホームページに加えて、ブログを中心としたホームページを活用して生徒の様子や学校の取組を積極的に発信してまいりました。

令和3年12月17日現在、ブログを中心としたホームページのアクセス数は88502件、1日あたりの平均は135.1件となっています。

今後も積極的な情報発信に努めるとともに、タイムリーで効果的な情報発信の方法について研究してまいります。

3. おわりに

お忙しい中、学校教育自己診断のアンケートにご協力いただきありがとうございました。集計結果から、本校の強みや課題を知ることができました。また、コロナ禍においても、生徒の頑張っている姿をたくさん知ることができました。これからも、保護者の皆様と連携を密にし、生徒がそれぞれに自分の力を発揮し、いきいきと楽しい学校生活を送ってくれることを願っています。

今後とも、本校の教育にご支援・ご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。